

「熊本地震・緊急募金」へのご協力を訴えます

28日に発生した熊本地震が甚大な被害を生んでいます。

犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

日本共産党は、「熊本地震・日本共産党対策本部」を立ち上げました。本部長は田村智子委員長、本部長代理・小池晃書記局長、副本部長・松岡勝党熊本県委員長、事務局局長・仁比聡平参院議員、事務局代理・

日本共産党中央委員会

堤文俊書記局長です。被災地の党組織や地方議員とともに、救命・救援活動や要望の聞き取りなどに全力をあげています。

全国のみなさんに熊本地震・緊急募金へのご協力を訴えます。

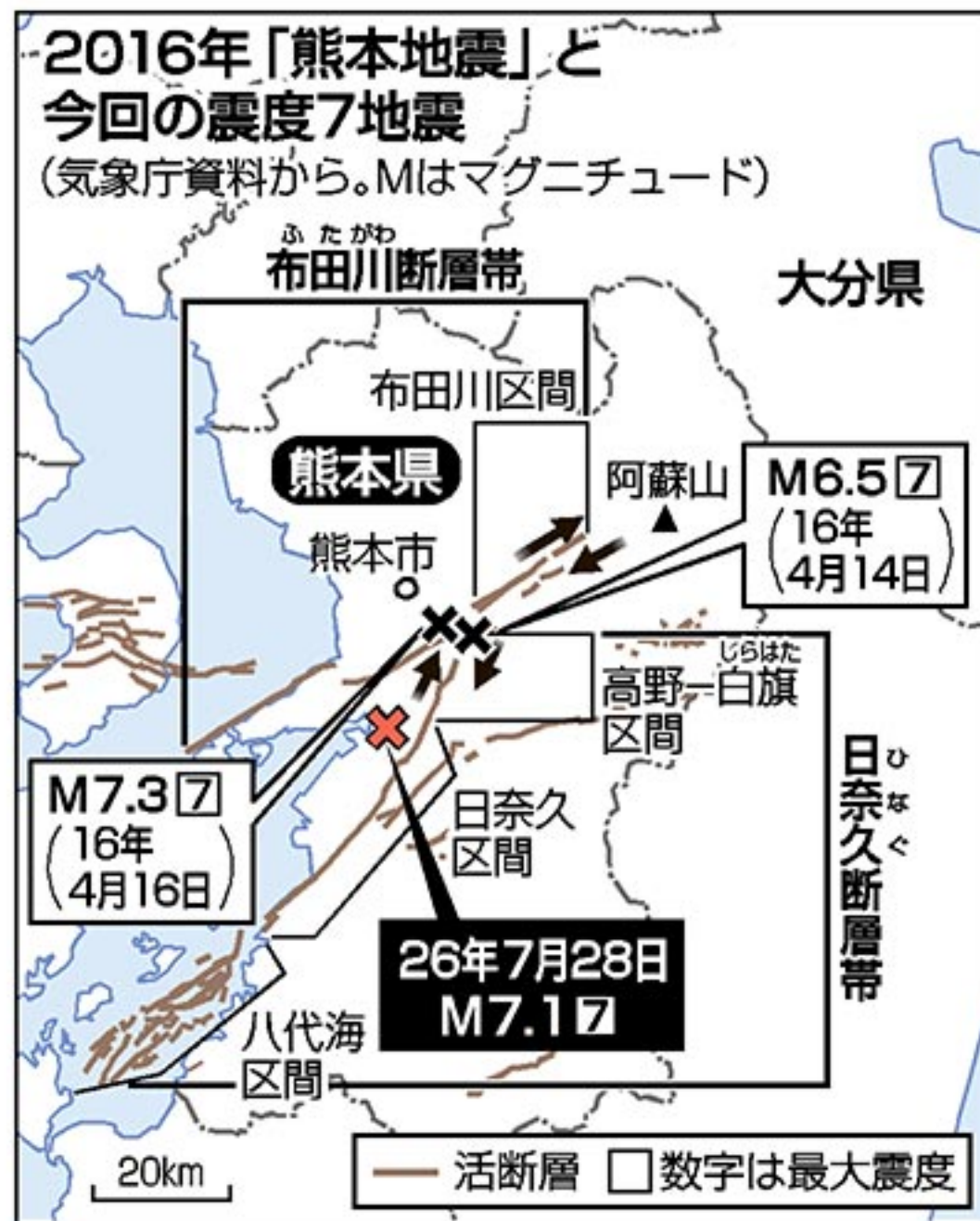
お預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金と区別し、全額を被災者救援、被災自治体のために活用します。

募金は、下記で受け付けています。

【郵便振替】
口座番号 00170-9-140321
加入者氏名 日本共産党災害募金係
※通信欄に「熊本地震・緊急募金」とご記入ください。手数料はご負担願います。

南西側 ひずみ集中も

熊本震度7



専門家「強い揺れ注意を」

熊本県で28日に起きた地震の震源域の周辺には、二つの断層帯がカタカナの「イ」を傾けたような形で存在しています。

阿蘇山の外輪山の斜面から西南西方向に向かって延びるのが「布田川断層帯」(推定64km以上)。その途中の地点から南西に延びるのが「日奈久断層帯」(推定81km以上)です。

2016年の熊本地震では、4月16日に起きた最大規模の地震(マグニチュードM7.3)は布田川断層帯の一部区間が、同日の地震(M6.5)は日奈久断層帯の一部区間が、活動したとみられています。今回の地震について、東



加藤愛太郎さん

モーメント・マグニチュード 地震の規模を表す指標であるマグニチュード(複数種類)のうち、地震による岩盤のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとに計算したもの。一般的に使われる「気象庁マグニチュード」が地震波の振幅から簡単に計算されるのと比べて算出が難しい一方、大きな地震の規模を正確に示すことができます。



地震により1階がつぶれた家(きょうざれん熊本支部長・福島貴志さん提供)＝29日、熊本県八代市

発生確率が高いランクに位置づけられてきました。加藤さんは「10年前には日奈久断層帯北端部の区間が活動し、今回は、その南西側に位置する日奈久区間が主に活動したと考えられます。今回の地震によって、さらに南西側の八代海断層帯にひずみが集中している状況です。同じ断層帯に位置することから、今後の活動を注意深く見ていく必要があります」。

熊本県で最大震度7を観測した28日の地震について、国土地理院は29日までに、全地球測位システム(GPS)などを使った電子基準点の地震前後のずれを計測した結果、同県八代市で地盤が北東方向に約84センチ動いたと発表しました。

八代市 北東に84センチ移動

地理院は全国約1300カ所に電子基準点を設けて地殻変動を観測。2016年の熊本地震の際には、南阿蘇村で約97センチの変動が観測されました。

地理院によると、八代市にある「千丁」基準点の動きが最も大きく、北東方向に約84センチ動くとともに、約30センチ沈降。熊本市南区の「城南」基準点で北に約40センチ、八代市の「泉」基準点で南に約17センチ動くなど大きな地殻変動が観測されました。

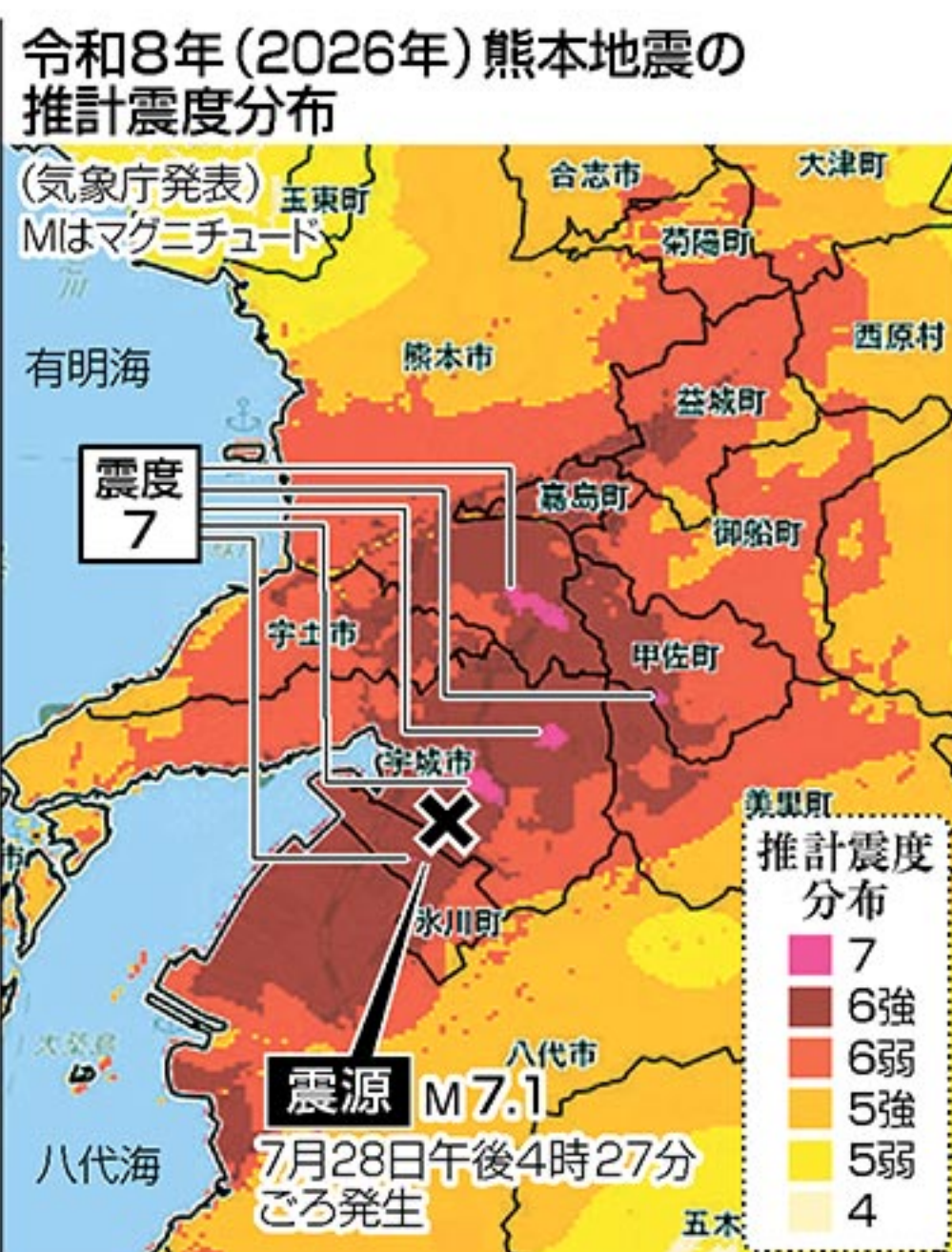
基準点の変動から算出するモデル計算で、震源となった断層は長さ約29キロ、幅約6.3キロ、約2センチ動いたと推定されました。

一方、観測衛星「だいち2号」が撮影したレーダー画像の分析では、震源に近い日奈久断層帯の北西部で最大50センチ、南東部で最大10センチの変動が見られました。

有感地震195回

熊本県で最大震度7の揺れを観測した地震の震源付近やその周辺では、地震活動が活発に続いています。気象庁によれば、今回の地震を伴う、体感する揺れ、危険な場所に立ち入らないうちに揺れは20日午後2時までに195回観測されました。うち、震度5弱は3回、震度4は11回に上りました。

同庁は、揺れの強かった地域では、家屋倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているとして、今後の地震活動や雨の状況に注意を払うよう呼びかけています。危険な場所に立ち入らないよう呼びかけています。



気象庁は29日午後、熊本県で28日午後最大震度7の地震が発生した際、宇城市と嘉島町、甲佐町の計3カ所にある震度計に何らかのトラブルがあり、震度データをまだ入手できていないと発表しました。宇城市は市内の別の場所にある震度計が震度7を観測しましたが、両町は他に震度計がなく、「推計震度分布図」では同6強と推定されています。

推計震度分布図は観測した震度と地盤の揺れやすさのデータを統合し、震度観測点がない場所の震度も2.50の4方向に推定した図で、同庁ウェブサイトでも公表されています。28日の大地震時は、震度観測点で宇城市と水川町が震度7でしたが、熊本市などの一部地域も同7と推定されました。

同図によると、大きな被害があったイオンモール熊本(嘉島町)付近は震度6強、日本製紙八代工場(八代市)付近は同6弱とみられます。

10年前も：気持ち託して ●佐賀

日本共産党佐賀県委員会は29日、佐賀市のJR佐賀駅前で熊本地震被害への募金活動に取り組みました。

むとう明美議員(佐賀市選挙区)は、現在わかっている熊本の被害の状況を話し、「10年前も大きな地震があり、大きな被害が出ました。皆様のお気持ちを託してください」と募金を呼びかけました。

募金した50歳の女性は「熊本地震被害を何度も受け、大変な思いをしていると思います。佐賀でも結構揺れたので、熊本はもっとひどかったでしょう。心配です」と話しました。



募金の呼びかけに応える女性(右)29日、佐賀市

駅前街で募金スタート 共産党

日本共産党京都府議団は29日、京都市内で、熊本地震の被災地救援を訴える街頭宣伝を行いました。

光永敦彦府議は、京都府から関西広域連合を通じて現地へ派遣が行われたことに触れ、「緊急対策と長期的な支援策が必要だ」と指摘。高市政権が物価高対策を急ぐ一方で、改憲や大軍拡に走っているとして、「こうした時にこそ政治のあり方が問われている。軍事よりも災害対策や命、暮らしを最優先する政治に転換を」と訴えました。



募金箱を手に支援を呼びかける京都府議団＝29日、京都市内

政治のあり方問われます ●京都

マーシャ・ロリニカイト 著
清水陽子 編訳
親族の運命
マーシャ・ロリニカイト作品集



不条理な史実に翻弄されたユダヤ人の生きざまを描く

《主な目次》
親族の運命
かくも長き別離 ― ある音楽家夫妻と娘のこと
未だに続く拘束状態
解説「不都合な過去」と向き合うリトアニア 浜野道博

リトアニアの強制収容所で過酷な体験をし、生涯反ファシズムを訴え続けたマーシャ・ロリニカイト晩年の作品。マーシャの親族の悲惨な生涯を綴った表題作ほか、ホロコーストから生還後に再会した親子の悲劇を描いた小説、旧ソ連によるユダヤ人迫害を描いた小説の三作品を収録。歴史の中の排外主義を今に伝え思索にいざなう。

●定価：本体 2800 円＋税／四六判
232 頁／ISBN978-4-406-06966-3

消される運命

リトアニアへのドイツ侵略後、すぐに始まったユダヤ人への差別と迫害。グラージーナは、ユダヤ人の友人から「ゲッロ」で生まれた赤ん坊を託される。恐怖におびえながらも、グラージーナは、小さな命をどうしても見殺しにできなかった。



●定価：本体 1800 円＋税
四六判上製／144 頁／ISBN978-4-406-06358-6

マーシャの日記その後

旧ソ連のユダヤ人差別

ホロコーストから生還後、ソ連文化事業局に勤めたマーシャは、ユダヤ反ファシスト委員会委員長の死に疑念を抱き解雇される。相次ぐシベリア送り。スターリンは死んだが……。旧ソ連によるユダヤ人迫害の実態を別冊「ドキュメント初邦訳」。

●定価：本体 3400 円＋税
四六判上製／448 頁／ISBN978-4-406-06803-1

